

神戸新聞社からの出前授業

2024/02/01

2, 3時間目に、神戸新聞社から三好記者が本山第二小学校に、出前授業を行うため訪れた。

ユニークな説明や、身近な例を挙げて新聞の魅力を伝えたという。

説明された新聞も、様々な魅力があるが、その中で一つ紹介したいのが、5W1Hだ。

いつ(when)どこで(where)誰が(who)なぜ(what)何を(why)どのように(how)を、まとめた略称で、新聞づくりの基本・根幹だという。

たしかに、この6つがないと文章の意味がよくわからなくなったり、

味気ないものになってしまうなどの影響が出てしまい、

これは、新聞の記事にとっては致命的なことだ。

また、新聞ができるまでの過程を一つ一つ丁寧に説明された。

これからも、小生が書く文章は、この先多いとは思いますが、常に基本を意識して、論文・記述・会社でのプレゼンテーションなどで、生かしていきたいと思う

出前授業の感想

出前授業でいろいろなことを教えてくれてありがとうございました。新聞についてあまり知らないけど、新聞のでき方や新聞づくりに大切なことなどを詳しく教えていて、分かりやすかったです。新聞社たちの苦労や、工夫などを聞いて良かったと思います。特に、色々な人が良く見るニュースは、もともと新聞社から得た情報を採用していることに驚きました。最近、あまり新聞は見ないけど、新聞社たちが苦労して作ってくれた新聞を見たいと思いました。

本山第二小学校 5年3組8番

新聞づくりの秘密を聞いた感想！

記事についての感想

記事は、写真は動きのある写真を使ったりその人が何者かをわかりやすいように関連のあるものをもたせたありしりの工夫をされていてすごいと思いました。同じ話題は同じ段落に置くことやよい写真の撮り方も三角構図や対角線構図など、工夫をしていたと知りました。新聞は文章が読みやすいなと思っていたのですが、その工夫も飛びおらない・飛び越えないなどの工夫をされていてすごいと思いました。

その他の感想

インタビューの時は約3つの質問に絞ったりして相手のリズムに合わせることが大切と知りました。他にも、ネットニュースはもともと新聞記事と知ったときはビックリしました。印刷は1時間に18万部印刷できるのはすごいと思ったし見てて気持ち良かったです。号外新聞とは、大きなニュースを急いで印刷して出す新聞のことで、新聞社はそれを当たり前のようにやっているのがさすがだと思いました。今日はわかりやすくいろいろなものを用意してくれた三好さんに本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

本二五年、将来の新聞記者に

本山第二小の五年生、新聞の書き方を神戸新聞社、三好記者に教わる。

新聞記者の方に新聞づくりの工程や書き方、取材の仕方などを詳しく教えてもらい、とても意義のある時間だったと思っています。5W1Hや逆三角形など知らなかった単語なども沢山にれたので、よかったです。さて、最近はニュース＝インターネットやテレビなどの印象をもち、新聞を読む機会がなかなかない人も多いと思います（少なくとも私の周りには）が、新聞の方が一つの記事をじっくり読むことができるなどのメリットがあり、時と場合によってメリット、デメリットを考えメディアを使い分ければいいなと思いました。

今日は新聞についていろいろと教えてくださり、ありがとうございました。

新聞づくりの秘密！

～三好記者に教えてもらった～

《感想》

今回は出前授業、ありがとうございました。
いろんなことを細かく分かりやすく説明して
もらってとっても分かりやすかったです。

新聞はいろんな秘密が
あってすぐ起きたところに行くと
想像していても
いなかったのび、びっくりしました。

普段はテレビでニュースを
見ているので、あまり新聞は
読みませんが、スマホなどで
見れると知ってみようと思
いました。

<印象に残ったところ①> インタビューの秘密

具体的、変化、比較を大切にしている
相手のペースに合わせてたり、リズムに合わせる。

・いろんな言葉があってそれを一つずつ大切にしてい
てすごいと思った。

<印象に残ったところ②> 写真の秘密

- ・たくさん撮る
- ・下からとる
- ・上からとる

・角度にも注目していてたくさん撮るところは
分かっていなかったのび知れてよかったです。
・今度写真を撮るときに工夫してみたいです。

二〇二四年 二月 一日

天気 くもり

特別新聞

本山第二小学校
五年三組四番

出前授業の感想

新聞を読むことはたまにあっても、新聞を作ると思ったことはないので
作り方とかどうやって取材すればよいのかなどは興味を持つことがなかったけど
詳しく、動画などを使って教えてくれて、少し興味を持つことができました
今日話してくれた三好さんの経験や取材したことのある人も教えてくれてすごく分かりやすかったです
新聞一枚を作るのにこんな工夫や苦労がされているんだなと思いました
それを毎日毎日発行して新聞記者さんは読む人のためにすごく頑張ってるんだなということがわかりました
また、新聞を読むときに教えてくれたことを考えながら読みたいと思います。

～新聞づくりの裏側とは?!～

感想

今日は、色々と神戸新聞社のことをたくさんお話ししてもらいありがとうございました。私は、新聞記事をどのように作っているのかわらなかつたのでわかりやすく丁寧に教えてもらうことができ、とてもよかったです。新聞記事をどのような順番でどのようなところを必要と考えて作っているのかまで細かく聞き、知ることができてよかったです。今日学んだことをいつか活用できるように頑張ります。

～神戸新聞社について聞いたこと～

社員：500人 記者：240人

5W1Hを大切にする

when, where, who, what, why, how

いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように

神戸新聞の秘密と感想

僕は今日神戸新聞ができるまで
を知りました。神戸新聞社の三好さん
からの話を聞いて新聞を作るまでは簡単
ではないんだなと思いました。
先生を取材する所を見れてよかったです
あと隣の人とインタビューをするのが
楽しかったです
僕はあまり新聞には興味がなかったけど
少し気になりました

私は、新聞の配置などのことが頭に残りました。
クイズでは私は間違えたほうを選んでしまって、
最初は「なんでちがうの？」と納得がいかなかったけれど、
三好さんの話を聞いて、「確かにそうだな」と納得がいききました。
また、新聞のアタマやカタ、ヘソなども今度新聞を見るときに
これを思い出して、改めて読んでみたいです。
今日は、新聞の色々なことを教えてくださって
ありがとうございました。

新聞について話を聞いた感想

今日新聞についての話を聞いていろいろなことがびっくりしました。

一つ目は、新聞の手順です。

取材→編集会議→編集→印刷→配送という手順で新聞を作っていることにびっくりしました。しかし、それはおおまかな手順で例えば、編集の手順などにもいろいろあって大変そうだなと感じました。

あと、記事を作りには5w1が大切なのと、逆三角形や、見出しがとても重要なことがわかった。二つ目は、社員が500人なのにそのうち記者が240人くらいいることに記者がそんなにいるかなと思いをしました。

神戸新聞では、阪神淡路大震災が起こってから30年もたつのに震災のことを忘れずに訴え続けているのがすごいなと思いました。だけど、三好さんは能登半島地震で、いろいろと被害が出てしまったりしたことが残念だと言っていました。今日の出前授業を通して、記者が毎日頑張って新聞を出している事が分かった。

新聞づくりの秘密 ～三好記者の話聞いた感想～

わたしは、三好記者の話聞いて、
一番すごいと思ったところは、たくさんの作業を
素早く、正確にこなしていることです。
びっくりしたのは、記者が体験取材もすることです。
記者は、見たり、聞いたりしたことだけではなく、
自分で体験したことを生かして記事を
書いたりすることに対して、すごいなと思いました。
1時間に18万もの印刷をできる機械も見たいです。
取材で写真が重要なのは初めて知りました。
今度、いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように
と書かれているかを意識して読んでみたいです。

神戸新聞社出前授業 ～新聞について～

本山第二小学校 5年3組 12番

<出前授業の感想>

今日2月1日木曜日、神戸新聞社の三好記者から新聞についていろいろなことを教わりました。特に、新聞づくりの工程の説明では、たくさんの工程を経て新聞ができることや、刷られた新聞を人の目で確認していることに驚きました。また、インタビューのコツやニュースの基本「5W1H」なども教わり、自分でも新聞がかけそうな気がしてきました。

私は、伝えるための文章を書くことに苦手意識を持っていましたが、今回のお話を聞いて「自分も頑張ってみよう」という気持ちになりました。まずは普段書く文章をじっくり見直すことから始めたいです。

神戸新聞社の人の感想！

今日本山第二小学校5年生は神戸新聞社の三好さんにお話を伺いました。その中でも心に残った工夫やデザインがあります一つは5W1Hです。いつ、どこで、だれが、何を、どのようにですこのことを考えると新聞を作るのは大変だなと思いました二つ目は三角構図です写真を撮るときにも工夫がいるのは大変だなと思いました。今回はいろいろなことを細かく学べたので良かったです

新聞記者のようす ～三好 正文さんに聞いたこと～

本山第二小学校
五年三組十四番
二月一日

- ・今回は、本山第二小学校で出前授業をしていただき、ありがとうございました。
- ・5W1Hや、逆三角形、号外などの、今まであまり知らなかったことも、
良く知れました。

- ・インタビューするときのコツや、写真を撮るときのポイントを、使ってみたいです
- ・今回学んだことは、いつか生かせるといいなと思います。

～号外のこと～

- ・大きなニュースがあると号外が作られる。
- ・スポーツや、災害などが号外になったりする。

～神戸新聞社のこと～

- ・社員は500人で、うち記者は240人
- ・兵庫、大阪、東京に拠点を持つ
- ・社員は、けんか祭りや、神戸マラソン、福男選びに出場したりする。

2024.2.1神戸新聞社出前授業新聞づくりについての感想

①新聞づくりには10もの工程があるんだ
ということに驚きました

②神戸新聞はその新聞だけでなくテレビ局や、ラジオ、
スポーツ新聞もやっているんだということに驚きました。

③神戸新聞社の取材する拠点は兵庫県に、
たくさんあって地域の情報がどこよりも、
多くて神戸新聞を読む機会があれば意識して読んでみたいです。

びっくり! 新聞のでき方

新聞記者のやりがい

兵庫県全体のニュースを
とりあげてるなんてびっくり
でした 三好さんによると
まず取材をして記事を作り
どの記事を使うかを決め
編集して印刷するそうです
その工程を1日もない中で
終わらせていくのはすごい
と思いました

もしも深夜の事件
などがあつたりすると
大急ぎで取材をして
事件の最も必要
のところ以外の
なくても大丈夫な
ところに貼り付けの作
業を真夜中にやって
眠たくて作業などは
進むのかどうやってそ
の事件を知る事ができ
るのか気になりました

三好さんの話を
聞いていくと
新聞記者はとても
大変だけど
完成するとうれしい
からやりがいの
ある仕事だなと思い
ました

新聞ができるまで

私は今日、三好さんの話を聞いて新聞はどのように作られたりするのかわることができました。

初めは正直言って新聞なんてあまり読まないから興味を持ちませんでした。でも新聞は作られるまでに時間がすごくかかりとても難しい仕事だと話を聞いて感じました。

新聞づくりにはいろいろな工夫がされてあると分かりました。話を聞いているときは画像とかがありとても分かりやすかったです。

新聞はすごくいいものだと思ったので、これから読んでみたいと思いました。

～出前授業感想～

今日の出前授業ありがとうございました。
僕は、新聞ができるまでの作業を全く知りませんでしたでも今日の三好さん出前授業で新聞ができるまでの工程とかいろいろ分かりました。
その中でも一番驚いたのわ取材の部分です。
なぜなら、土砂崩れがおきたところにも行くと言っていたけど土砂崩れがおきたから足場がいつ崩れるかわかんなくて命がけでも行っていて大変だなとおもったからです。

神戸新聞社出前授業の感想



今回の出前授業で一番驚いたのは、新聞を作って完成させるまでがものすごく大変だということです。

特に大変そうだったことが一つあって、手順がいっぱいあることです。

僕は今まで、取材→記事を書く→完成！だと思っていたけど、実際はもっとたくさん手順が必要だと知ったからです。

また、1つ1つ大変な作業がある、ということにも驚きました。新聞が自分の手元に届くまでに、とても苦勞してつくられていると考えると、新聞はやっぱりすごいと思いました。

新聞についてよく知れた！

本山第二小学校 5-3 20

新聞作りのポイント

ありがとうございました

本山第二小学校5年3組21番
三好さんは自分が有名人に会いたいから新聞記者になっていろいろな取材を取っていき、大事なことも新聞を作るには色々なことがある。

①取材「新聞に写真は絶対」

②編集会議「分かりやすく、誰でも読めるように」

③編集

④パソコンで「組板」

⑤新聞を管理するコンピューターで新聞の内容をチェック

⑥印刷「最後は人の目で確認」

⑦配送 家やコンビニなどに

新聞には朝刊と夕刊と号外があるその中でも号外は大きな事故や災害やニュースをまとめた新聞で号外はあまりたくさんは出されていない

新聞作りの秘密～感想～

私が、この出前授業で知ったことは、2つあります。

1つ目は、新聞ができる過程です。

私は、今日のニュースを選んで印刷すると思っていたけれど編集会議があったり、1つ1つの過程がすごく大事なことを知りました。また新聞の配置も工夫していることが、分かりました。

2つ目は、それぞれの役割の工夫です。

例えば、写真の撮り方です。喋っているときにとったり、人の性格がわかる、笑っているときとかにとることを知りました。

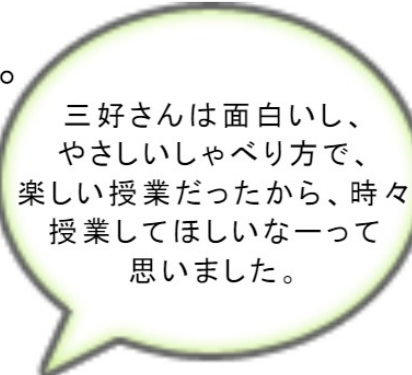
これらを、教えてくれた、三好さんには、とても感謝しています。

本山第二小学校 5年3組22

拝啓、三好さんへ

ありがとうございました。新聞の作り方の工夫や努力が分かり、面白かったです。特に、写真の撮り方の工夫のことが気になりました。僕も、旅行とかに行ったら写真をとるから、三分割法や、三角構図、対角線構図も使ってみたいです。うごきをつけたり、背景や周りのものにも気を付けたりしたいです。

号外の仕組みや記者の一日のスケジュールの話も面白かったし、たくさんの手順を通して一日に二枚も新聞を出しているなんて、スピーディーですごいなと思いました。



三好さんは面白いし、やさしいしゃべり方で、楽しい授業だったから、時々授業してほしいな一って思いました。

本山第二小学校 五年 三組 二十三番

新聞がつくられるまで(意外なことまで!)～話を聞いた感想～

私は、いつもニュースを見るときは、テレビで情報を得ているので新聞はあまり知りませんでした。

この学習をして、分かったことは、新聞をつくるのにたくさんの人が関わっていることなどです。色々な人がチェックをして、編集会議を行うなどすごいなと思いました。また、記事を書く時の基準では、新しいことも知れて良かったと思いました。

その中でも一番気になったのは、ネットニュースなどの情報は、新聞の情報を借りていることが多いことです。このようなことを知って新聞に興味を持ったし、読んだことがないので、読んでみたいと思いました。

神戸新聞社 出前授業 ～ 記者からの話～

【感想】

- ・一つ一つの記事の場所や置く、ポイントなどを細かく教えてくれました。出前授業でなったことを生かして、新聞を見てみたいです。
- ・新聞が私たちに届くまでに、いろいろな人たちが関わってくれている事がすごいな。と思いました。

新聞記者 三好さんの話への感想

三好さんのお話でふだんは知れない新聞や新聞記者の裏側を知ることができました。新聞は、取材・編集会議・編集・校閲・印刷・配送という六工程で出来ており、思っているより手が込んでいました。また、新聞のレイアウトや記事は5W1Hや逆三角形、飛び降りしない・腹切りしないなどいくつかの基本に沿って作られていると知りました。本当に記事に様々な基本が使われているのか、今度確認してみたいです。

新聞のことを聞いてみた



5W1H

いつ、どこで、だれが
何を、なぜ、どのように

感想

色々難しかったけど
工夫とかがあっていい
時間でした
また来ると言っていたんでうれしいです

ネットニュースは元々
新聞記事だった。インタビューする時は相手のリズム
合わせて話し合うことが大事です

神戸新聞社 ～記者のコツ～

本山第二小学校 5年3組 28番

【感想】

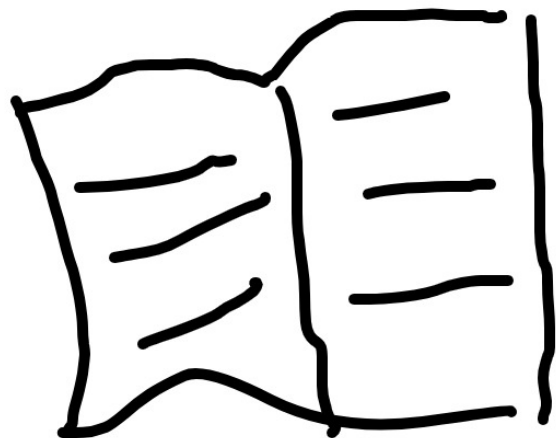
いつも私はテレビのニュースばかりでありあまり新聞は見ていなかったけど、今回の出前授業で、新聞の良さもあるんだなあと思いました。

私の家では新聞を取っているからまた暇なときに読んでみようと思いました。

質問のコツは私たちも使えると思うから
質問するときは相手のリズムに合わせて
質問しようと思いました。

結構身近な存在の新聞にも
色々な人がかかわっていると知れてよかったです。

神戸新聞社出前授業 感想



本山第二小学校5年3組29番

今回の特別授業で、「新聞」について
そのでき方やインタビューでのこつなど、
普通では学べない事が知れて良かったです。
新聞のこと以外にも、きれいな写真の撮り方
なども知れて良かったです。
私は、あまり新聞を読まないけど、神戸新聞社
さんたちが苦労してつくった新聞を読みたいと思いました。

三好記者、ありがとうございました。

感想

私は、新聞はそんなに読まないけれど、いろいろ話を聞いて、新聞ってそんな工夫あるんだなと知りました。『新聞ってすごいな素敵だな。』と思いました。いろいろ話を聞いて良かったなと思いました。また出前授業をしたいなと思いました。

新聞づくりについての 話の感想

ニュースを書くときの基本は5W1Hだそうです
あまりニュースのことなどは知らなかったけど
今回の出前授業でたくさんのが分かり
ました。

あと特に記者は新聞を読んでもる人が読みやすい
ようにすごい沢山の工夫をしていることが
分かりました。

神戸新聞記者三好さんから聞く!! 新聞記者の裏側

今回の話を聞いて新聞記者のいいところや大変なところがわかりました。新聞記者は一つのジャンルだけじゃなく、火事、作品展、動物などいろいろなジャンルのものをたくさん取材して、それをすぐにまとめて新聞記事として出すことがわかったので大変だなと思いました。

でも相手のリズムに合わせて質問したり雑談を交わしたりと有名人や発見者などに楽しくしゃべったりできるのがいいところだと思いました。

本山第二小学校 5年3組32番

出前授業の感想

今日は神戸新聞社のことについて教えてくださってありがとうございました。僕は新聞を取っていないので関わることは少ないと思いますが、新聞のことについて色々分かりました。新聞の写真の位置や写真を撮る角度などいろんなことに注意していてすごいなと感じました。新聞記者はいろんなところに行って取材して、いそがしいなと思いました。また、新聞のことについて知りたいです。

本山第二小学校 5年3組 34番

新聞について「感想」

僕が、印象に残ったことは、ネットニュースとかは、もともと新聞から取り上げていたり新聞記者はちょっとした火事で死んだりするかもしれないからちょっとした火事でも現場に、行かないとダメっていうことに詳しく知れたり、「いつ」「どこで」「何を」「なぜ」「どのように」を取材することとかを詳しくすることがよかったし、いろんなことに聞けたのでまた、話を聞きたいです。

神戸新聞の記者が教えてくれた 感想や工夫

三好記者が教えてくれた新聞の感想

- ・スライドショーがあって分かりやすく面白かった
 - ・新聞について詳しく教えてくださった
 - ・新聞にはいろいろな人たちがかかわっている
- ・何が何のためにあってこうしたらいいということを詳しく教えてくれたからうれしかった。

教えてくださってありがとうございましたまた機会があればよろしくお願いします

出前授業の感想

出前授業では私たちの知らない新聞づくりの基本
を知ることができました。

新聞を作ることで大変だと感じたのは
印刷した後の確認や、どのニュースを使うのかを決めるところです。
新聞づくりについて教えていただきありがとうございました

新聞記者の裏側 ～三好さんから聞いた～

私は、新聞がどのように作られているのかや、新聞社に勤めている方々の一日などは知らなかったけど、三好さんのお話を聞いてとてもハードなスケジュールの中で新聞を作るうえでの様々な工程をこなしていることがすごいと思いました。さらに、そんなハードなスケジュールの中でインタビューしている間や写真を撮るときなどにも様々なことに注意して私たちに情報を発信してくれているというのを知り、とてもありがたく思えるようになりました。また、三好さんが教えてくれた5W1Hは普段から文章を書くうえでも大切にしたいと思いました。今回の出前授業、詳しく教えてくれてありがとうございました

新聞について 出前事業の感想

僕は2月1日に三好さんの話を聞きました。新聞などの工夫について、話してくれたり、うまく画像を使って話してくれたのでとても、わかりやすかったです。

僕は、初めて知ったことが数えきれないほどあり、特に印象にことが、新聞を発行するまでにたくさんの工夫をして、みんなに読みやすくしたりわかりやすくしたりするなど、新聞にはいろいろな工夫がされているんだなと思いました。

取材をしに行くときの工夫がたくさんありました。取材をするときは5W1Hということを守っているんだそうです。5W1Hとは→いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どの様にという順番に質問するんだそうです。乗せる写真は何かの記念写真などはあまり載せなく、インタビューに答えているときと、インタビューに会った内容ができるだけ映り込んでいるときに写真を撮るんだそうです。取材や写真の撮り方にも工夫があり、いろいろ考えてやっているのだなと思いました。

本山第二小学校 5年3組40番